

北秋田市 第4回総合計画策定審議会議事録

日時：平成27年9月30日 14時00分～15時30分

場所：北秋田市役所（中央公民館 1F ホール）

【決定事項】

- ・ 本日の新たな意見に対する検討結果は後日各委員に郵送する。
- ・ 市長への答申については事務局と委員長に一任する。
- ・ 審議会の設置要綱では委員の任期は総合計画答申の日までとなっているが、本日で審議が実質的に終了したことに伴い、本日をもって委員の任は解かれる。

【指摘事項】

- ・ (資料2-1) 素案の5ページ。その後にも何度も出てきているが、北秋田市民ふれあいプラザに名称は決まったので、仮称ではなくなったので条例の名前に修正して欲しい。
- ・ (資料2-1) 素案の5ページ。自然資源を活かしてという中の3行名に、森吉山については雪に親しんで頂き、と記載されているが、樹氷や雪だけでなく、通年を通じてという表現にした方が良いのではないかな。
- ・ (資料2-1) 素案の22ページ。畜産の振興の中で、畜産農家の設備や種牛・比内地鶏の元雛等の購入支援を行うとある。種牛については、市の所有で1頭、とのことを伺った。種牛は市の所有のものということで、種牛の導入を図るという表現が良いのではないかな。
- ・ (資料2-1) 素案の73ページ。FF推進員とあるが、略語はやめて、一般にもわかる文章にしてほしい。

【主な意見】

＜資料1、追加資料1について＞

- ・ (資料1) No44。検討結果としては2025年度までにシステムを構築することになっている、ことを理由としている。つまり10年後までとなっているが、それで間に合うのか。どこかに速やかに構築する等の記載として欲しい。
- ・ (追加資料1) パブリックコメント No26番の人口減少問題の意見として、最近大館市では結婚するための準備資金のお金を金融機関から調達した場合の利子を補充するという取組がある。当初は秋田銀行ということだったが、弊社も取組を始めていて実績もあるので、それを進めてはどうか。
- ・ (追加資料1) パブリックコメントの30番の高齢者の雪害防止について。融雪設備工事

をあちこちで進めているが、それらの補助についても耐震化やリフォームの補助事業と同じように考えて事業があっても良いのでは。

<資料2 答申案について>

- ・(資料2 P1) 1－5. 商業の振興の2つめの記述における、一人1万円というのは毎月、ではないか。毎月という表現を記載した方が良い。
- ・(資料2 P1、1－6. 観光・レクリエーション施策) 2つめの記述について。宿泊施設が無いので、という記載があるが、宿泊施設が無い訳ではないので、「団体ツアーの」や「大型の」、という表現を追加した方が良いのではないかと。
また、「市長をはじめとして」とあるが、ここだけ市長をはじめとしてという記載になっている。他の意見に市長は関係ないと感じてしまうので、この記載は不要ではないか。
また、「積極的にホテルを引っ張ってくる」というのは企業誘致のことだと思うので、企業誘致の表現に改めた方が良いのではないかと。
- ・(資料2 P1、1－6. 観光・レクリエーション施策) 宿泊施設が無いので、ということに関して。やはりスポーツの大会やイベントの時に選手が止まる施設が足りず、大館に持っていかれているで、その説明もあった方が良いのではないかと。

<資料2－1 総合計画素案について>

- ・(全体) 今までの一次の総合計画では人口減少も止まらなかったし、産業の発展も上向きに転じなかったかと思う。今回二次の計画を立てようとしている段階で、非常によくできているとは思いますが、二次と一次の違いが見えないのではないかと。見えると希望が出てくると思うが、なかなか見えてこないようにも感じる。
- ・(全体) 北秋田市全体を良くすることを考えると、計画に出てきていない内容として、大野岱の開発が必要だと思う。病院も人気が無い、先生が良くない等がある。市民病院ではなく、死民病院という声も聞こえてくる大変な事態だと危惧している。先生によっても色々あるのかもしれないが、積極的に先生が集まらないということを踏まえても大野岱を開発して先生が来やすい環境とし、それによって病院も価値が上がっていくのではないかと。そのようなことから病院周辺の開発を積極的に進めてほしい。
- ・(8ページ) 目次数やページ数をつけて欲しい。
- ・(1－6. 観光・レクリエーション施策) 観光とスポーツの連携が必要だと思う。これをしっかり持っていけるように、それぞれが独立ではなく連携して欲しい。具体的には宿泊に関して取りまとめて手配してくれるところがあるのかどうか。このようなことが無いと先に進まないのではないかと。
- ・(1－6. 観光・レクリエーション施策) 先日全県の陸上大会があったが、大館に7割行ってしまった。そういう時に、宿泊施設がないから皆が黙っている状況。何かを工夫してどこかがやるといった声が出てこないものか。高校生でもあるので、会館でも宿泊

可能ではあるはず。地域としてここに泊まらせてほしいという声が上がってこないのは我々からみると残念である。手を挙げてやる気概が欲しい。現状では、傍観しているように思う。

- ・（１－６．観光・レクリエーション施策）観光も泊まる場所が少ないとあるが、泊まらせるだけの要素が少ないこともあると思う。以前にくま牧場の話も出たが、熊も見るだけでは十分ではないと思う。くま牧場だけではなく、観光にも積極的に力を入れて、早い話が例えばバンジージャンプを作ってやる等、年間を通じて遊べるようなことを積極的にできればと思う。
- ・（３－４ 芸術・文化の継承と振興施策）地域文化を推進するにあたって、各自治会において高齢化により継承できない状況にもなっています。地域に任せるだけではなく、行政ももっと積極的に入って主導していくべきではないかと思います。
- ・（４－３道路網の充実施策）今国や県で北秋田市に関連する大きい取組としては、大曲・鷹巣の高規格道路を進めるということがある。これを利用しない手はないと思うが、これに触れているのは積極的な要望をするという記載のみで、どう活用をするかの記載がない。国も県も相当な予算が投じられ、地元が一生懸命にならないとおそらく予算が付かない可能性もある。観光に結び付けるには、森吉山の関連も含めて今までと違う形で道路と関連させて取り組むことが良いのではないか。

また、国土強靱化計画など国では法律を定めている。また、インフラ・老朽化対策も方針として出ている。また、国土グランドデザイン２０５０という日本の国のデザインの方針も出されている。このような国の方針に沿う市の方針が出されていないように思うので、この点も検討していく必要があるのではないか。

- ・（４－４ 住環境の整備施策）空地、空家の問題について、PRが足りないので、どのようにすれば利活用できるのか、わかるようにPRして欲しい。

先日お話しした人の中には、阿仁に帰っても大変なことばかりなので秋田の方に行ったという人もいた。今はバブル期とは異なるので、空き家が安く手に入る。また、今までの農業が大変だというイメージが強いので、これをどう解消するのかを提案してPRしていければ、少しは良くなっていくのでは。また、地元の若者に対しても、空家をリフォームし、空き家バンクも積極的に推進して、家を安く買える、新築するよりも良いということについてPRが足りないように思う。

- ・（４－４ 住環境の整備施策）空地・空家の意見があったが、今後は市営住宅の利用も難しいため、これからの１０年は空家、空地、耕作放棄地といったものをどう財産として捉えるか、安く購入して譲って、利活用するかだと思う。
- ・（５－７ 行財政改革の推進施策）１０年の計画としては良いと思うが、少子高齢化が改善される見通しはなかなか立たないと思う。この点について強力な対策は難しいと思われる、短期的にも難しいと思う。その中で７７ページには財政面が厳しくなるという記載がある。従って、総合計画と並行して、事前の策として、借金は増やさないと、建

物の新築・建て替えは減らすこと、補助金も減らす等が必要ではないか。計画は計画で実施していくと思うが、先立つものは財源なので、借金を増やさないようにどう財政を考えるかを真剣に考えてほしい。

- ・（５－７ 行財政改革の推進施策）行財政施策における目標として市役所の職員の対応について６割程度となっていますが、８割程度までの目標が妥当ではないか。

【詳細議事録】

1. 委員長挨拶

委員長：皆様お疲れ様です。もう6月10日に始まったこの会も4回目ということで、まわりでは黄金色した稲がもう稲刈りということです。この会も今回が稲刈りということになるのでしょうか。これまで色々ご意見を頂いたものを事務局がまとめております。今日は前回出されたご意見の検討結果が一つあります。また、8月24日から9月4日までに行われたパブリックコメントについての検討結果の報告もあります。これについての報告もされますので、答申につながる稲刈りの会議にしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。なお、早めに終わった場合は早めに終わっても良いかと思っておりますので、よろしくお願い致します。

2. 第2次北秋田市総合計画（素案・第3稿）について

委員長：早速ですが、事務局からの説明をお願い致します。

—事務局より資料1（第3回審議会の意見検討結果）、追加資料1（パブリックコメントに対する検討結果）の説明—

委員長：只今事務局より説明頂きました。委員の意見及びパブリックコメントを含めまして事務局にはよくまとめて頂いたと思います。その内容について委員の方は夫々に受け止められたものと思います。追加、修正、引き続き検討課題等色々前向きなものもありますが、委員の意見と検討結果及びパブリックコメントを含めて質疑応答をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。まずは、ご自分のご意見の検討結果についていかがでしょうか。

私の意見に関しては44番ですが、地域包括ケアシステムの構築という質問から始まっていますが、検討結果としては2025年度までにシステムを構築することになっている、ことを理由としています。つまり10年後までとなっていますが、それで間に合うのでしょうかというのが私の感想であります。どこかに速やかに構築する等の記載として欲しいというのが私の意見です。10年間待つと何歳になるのかと感じてしまいます。

他の委員の方のご意見はいかがのでしょうか。前回に煮詰めて議論したと思いますので、各課の方で前向きに議論頂いたようには感じます。もし特に無いようであれば、続いての答申案を確認しながら、検討していきたいと思っております。

3. 答申案について

委員長：事務局の方で答申案についての説明をお願い致します。

―事務局より、資料2（答申文書案）の説明―

委員長：では、答申についてはいかがでしょうか。これまでの会議で委員から出された意見が集約されているということのようです。

福原委員：1ページの内容について。細かい表現ですが、1－5. 商業の振興の2つめの記述における、一人1万円というのは毎月、ではないでしょうか。毎月という表現を記載した方が良いと思います。

また1－6. 観光・レクリエーション施策の2つめの記述について。宿泊施設が無いので、という記載がありますが、宿泊施設が無い訳ではないので、「団体ツアーの」や「大型の」、という表現を追加した方が良いのではないのでしょうか。

また、「市長をはじめとして」とありますが、ここだけ市長をはじめとしてという記載になっています。他の意見に市長は関係ないのかなと感じてしまいますので、この記載は不要ではないかと思います。

また、「積極的にホテルを引っ張ってくる」というのは企業誘致のことだと思いますので、企業誘致の表現に改めた方が良いのではないのでしょうか。

簾内委員：宿泊施設が無いので、ということに関して。やはりスポーツの大会やイベントの時に選手が止まる施設が足りず、大館に持っていわれていますので、その説明もあった方が良いのではないのでしょうか。

福原委員の指摘する団体旅行だけではなく、県・全国の大会のイベントにおいても宿泊施設が足りないということだと思います。今年の夏頃に県の保育園の先生の集まりがありましたが、北秋田市が当番ですが大館に宿泊したということがあります。イベントや事業等においても宿泊施設が少ないということもあるので、そこも記載して欲しいと思います。

委員長：余談ですが、以前に日体大の集団行動の団体が男鹿市において、秋田大学が誘致する形で90名呼んだ際は、全ての施設をフル活用して何とかあったということがあるようです。ただ、課題としては人が来ない日が多いので、その対応が課題ということであつたようです。ちょうどバブル期に建てたものが今は必要ではなく、何かしらの工夫が必要ということがあるようです。

成田（光）委員：今の議論もそうだと思いますが、観光だけで来るものでしょうか。実施部分に含まれると思いますが、観光とスポーツの連携が必要だと思います。これをしっかり持っていけるように、それぞれが独立ではなく連携して欲しいと思います。具体的に

は宿泊に関して取りまとめて手配してくれるところがあるのかどうか。このようなことが無いと先に進まないのではないのでしょうか。

委員長：縦割りではなく連携ということだと思います。2020年のオリンピックに向けて各自治体では練習場の誘致も競って行っていることもあります。スポーツと観光の連携は今後一つあると思います。

成田（光）委員：先日にも全県の陸上大会がありましたが、大館に7割行ってしまいました。そういう時に、宿泊施設がないから皆が黙っている状況です。何かを工夫してどこかがやるといった声が出てこないものなのでしょうか。高校生でもあるので、会館でも宿泊可能ではあるはずです。地域としてここに泊まらせてほしいという声が上がってこないのは我々からみると残念です。手を挙げてやる気概が欲しいと思います。現状では、傍観しているように思います。

委員長：一步踏み込んで欲しいということだと思います。

簾内委員：私も25年前ほどですが、息子がなよろ町で全国中学スキー大会がありました。あちらでは、宿泊施設が無いので、公民館を使って下さいということで、雑魚寝ですが、そこに宿泊しました。それくらい地元の人を入れ込むという積極性があった方が良いと思います。

委員長：以前、国体の頃に民宿でカバーした記憶がありますが、あれから高齢化も大分進んでいることがあるとは思いますが。その前の高知でも公民館等に泊めたこともあるようです。地域として一步踏み込むという意気込みが大事ということだと思います。

北林委員：今日初めて会議に参加して、まとめの段階で意見を言うのも混乱するのかなということもありますが、折角なので考えを述べさせて頂きたいと思います。

今までの一次の総合計画では人口減少も止まらなかったし、産業の発展も上向きに転じなかったかと思います。今回二次の計画を立てようとしている段階で、非常によくできているとは思いますが、二次と一次の違いが見えないのではないのでしょうか。見えると希望が出てくるとは思いますが、なかなか見えてこないようにも感じます。

それで、今国や県で北秋田市に関連する大きい取組としては、大曲・鷹巣の高規格道路を進めるということがあります。これを利用しない手はないと思いますが、これに触れているのは積極的な要望をするという記載のみで、どう活用をするかの記載がありません。国も県も相当な予算が投じられますし、地元が一生懸命にならないとおそらく予算が付かない可能性もあります。観光に結び付けるには、森吉山に関連も含めて今までと違う形で道路と関連させて取り組むことが良いのではないのでしょうか。

また、国土強靱化計画など国では法律を定めています。また、インフラ・老朽化対策も方針として出ています。また、国土グランドデザイン2050という日本の国のデザインの方針も出されています。このような国の方針に沿う市の方針が出されていないように思いますので、この点も検討していく必要があるのではないのでしょうか。

委員長：国や県の事業を積極的に活用するという姿勢については、なかなか難しいというこ

となのかだと思います。また、高規格道路の活用については、何か庁内での検討があるのかどうか。できれば、国の動向にすぐに反応して欲しいということかと思います。

金森委員：空地、空家の問題についてですが、PRが足りないので、どのようにすれば活用できるのか、わかるようにPRして欲しいと思います。

先日前お話しした人の中には、阿仁に帰っても大変なことばかりなので秋田の方に行ったという人もいました。今はバブル期とは異なるので、空き家が安く手に入ります。また、今までの農業が大変だというイメージが強いので、これをどう解消するのかを提案してPRしていければ、少しは良くなっていくのではと思います。また、地元の若者に対しても、空家をリフォームし、空き家バンクも積極的に推進して、家を安く買える、新築するよりも良いということについてPRが足りないように思います。

また、観光も泊まる場所が少ないとありますが、泊まらせるだけの要素が少ないこともあると思います。以前にくま牧場の話も出てましたが、熊も見ただけでは十分ではないと思います。くま牧場だけではなく、観光にも積極的に力を入れて、早い話が例えばバンジージャンプを作ってやる等、年間を通じて遊べるようなことを積極的にできればと思います。

また、地域文化を推進するにあたって、各自治会において高齢化により継承できない状況にもなっています。地域に任せるだけではなく、行政ももっと積極的に入って主導していくべきではないかと思います。

委員長：行政が主導して情報を出していくということかと思います。ある自治体では空き家と田んぼと畑をまとめて団塊ジュニアに提供する、ということと伺ったことがあります。

金森委員：そこで何が問題になるかと言えば、機械が無いなどやりたいと思った人がなかなか出来ないことです。地域として誰かが援助して、そこで耕作まではお手伝いするよといった、そこまで踏み込んだやり方が必要だと思います。

委員長：そこで生活するための情報を上げる必要があると思います。

福原委員：金森委員から空地・空家の意見がありましたが、今後は市営住宅の利用も難しいと思いますので、これからの10年は空家、空地、耕作放棄地といったものをどう財産として捉えるか、安く購入して譲って、利活用するかだと思います。

花田委員：パブリックコメントについて。26番の人口減少問題の意見として、最近大館市では結婚するための準備資金のお金を金融機関から調達した場合の利子を補充するという取組があります。当初は秋田銀行ということでしたが、弊社も取組を始めていて実績もありますので、それを進めてはどうかと感じました。また、同じくパブリックコメントの30番の高齢者の雪害防止について。融雪設備工事をあちこちで進めていますが、それらの補助についても耐震化やリフォームの補助事業と同じように考えて事業があっても良いのではと感じました。

成田（陸）委員：素案の5ページについて。その後にも何度も出てきていますが、北秋田市

民ふれあいプラザに名称は決まったので、仮称ではなくなったので条例の名前に修正して欲しいと思います。

また、同じ5ページの文書で、自然資源を活かしてという中の3行名に、森吉山については雪に親しんで頂き、と記載されていますが、樹氷や雪だけでなく、通年を通じてという表現にした方が良いのではないのでしょうか。

また、第1回で質問をしましたが、22ページについて。畜産の振興の中で、畜産農家の設備や種牛・比内地鶏の元雛等の購入支援を行うとあります。種牛については、市の所有で1頭、とのことを伺いました。種牛は市の所有のものということで、種牛の導入を図るという表現が良いのではないのでしょうか。民間の購入支援ではないので、導入を図るという表現に訂正すべきだと思います。

また、細かいことですが、73ページについて。FF推進員とありますが、略語はやめて、一般にもわかる文章にしてほしいと思います。

金森委員：北秋田市全体を良くすることを考えると、計画に出てきていない内容として、大野岱の開発が必要だと思います。病院も人気が無い、先生が良くない等があります。市民病院ではなく、死民病院という声も聞こえてくる大変な事態だと危惧しています。先生によっても色々あるのかもしれませんが、積極的に先生が集まらないということを踏まえても大野岱を開発して先生が来やすい環境とし、それによって病院も価値が上がっていくのではないのでしょうか。そのようなことから病院周辺の開発を積極的に進めてほしいと思います。

福原委員：素案の8ページに目次数やページ数をつけて頂ければと思います。

また、行財政施策について意見を述べさせて頂きたいと思います。10年の計画としては良いと思いますが、少子高齢化が改善される見通しはなかなか立たないと思います。この点について強力な対策は難しいと思いますし、短期的にも難しいと思います。その中で77ページには財政面が厳しくなるという記載があります。従って、総合計画と並行して、事前の策として、借金は増やさないことや、建物の新築・建て替えは減らすこと、補助金も減らす等が必要ではないかと思います。計画は計画で実施していくと思いますが、先立つものは財源なので、借金を増やさないようにどう財政を考えるかを真剣に考えてほしいと思います。事務局も考えているとは思いますが、より検討は進めてほしいと感じます。

委員長：行財政施策における目標として市役所の職員の対応について6割程度となっていますが、8割程度までの目標が妥当ではないかと感じます。

委員の皆様からのご意見を有難うございました。今回の新たな意見に対する検討結果は後日各委員に郵送ということになっています。また、これを踏まえた上で、今日の会議が最後となっていますので、市長への答申については事務局と私に一任して頂きたいと思います。

それでは、以上で審議会としての議論を閉じたいと思います。委員の皆様につきまし

ては、大変長期間にわたり重要な議論に協力頂き、誠に有難うございます。皆様の熱い
思いを託して答申して参ります。これを持ちまして私の議事進行の任務を終えたいと
思います。有難うございました。

事務局：6月10日から本日まで4回に渡るご議論を大変お疲れ様でございました。そして
委員長として進行を務めて頂きました濱田先生には大変ご難儀をおかけいたしました。
先生をはじめとして委員の皆様にご心から御礼・感謝を申し上げたいと思います。審議会
の設置要綱では、委員の任期は総合計画答申の日までとなっておりますが、本日で審議
が実質的に終了致しましたので、本日を持ちまして委員の任は解かれるようになります。
今後は12月市議会に総合計画の議決を求める議案が提出され、それが可決された
上で、その後に総合計画の施策を実行する運びになります。それにつきましては市全体
一丸となって取り組む所存ですので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

それでは、これを持ちまして第4回北秋田市総合計画策定審議会を終了致します。有
難うございました。

以上